山協ニュース

岩手県山岳協会
第１９４号
平成 28 年 2 月 28 日発行
long-distance.jp/sangaku/

平成 28 年度岩手県山岳協会 定期総会開催

平成２８年度岩手県山岳協会定期総会は、２月６日（土）午後１時 30 分からサンセール盛岡で開催されました。総会には、加盟団体の代議員、協会評議員、名誉会員、顧問、参与、役員 71 名が出席。会議に先立ち、物故者へ黙とうを捧げました。

会議は、久世一彦氏（久慈市山岳協会会長）を議長に選任。冒頭高橋時夫会長は、今年の希望郷いわて国体の成功に向けて一丸となって選手強化、運営準備に取り組むとともに、山の日制定に伴い「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という制定の趣旨に対する県民の関心を高め山と人との係わり方を見直す機会にしましょう。」と挨拶。議事は、事業報告の承認、決算認定、平成 28 年度事業計画、予算について、すべて原案通り決定。なお、収支決算は、いずれも概ね、次年度事業準備金相当の黒字決算となりました。

昨年度を振り返りますと、東北総合体育大会では 6 年連続県別総合優勝、和歌山国体での少年男子の活躍、滋賀県での全国高等学校登山大会では、盛岡一高女子が優勝、アジアユース選手権大会ユースＣで伊藤ふたば選手（松園中 1 年）の優勝等活躍が光りました。また、国体成功のカギを握る審判員、競技運営員についても準備が加速し、県山協国体実行委員会も本格的に始動しました。3 月から国体本番を想定してボルダリング大会、6 月のリハーサル大会で経験を積み本大会に備えることとなります。

事業では、今年も安全登山の啓発、自然愛護、各種講習会の開催、若手会員の山岳指導員資格取得、岩手山山小屋管理を通じての啓発、少年少女登山教室、県民と一緒に登る日本の名峰、鞍掛トレラン、「山の日」施行に合わせた記念事業の実施等に取り組むことを確認。

希望郷いわて国体に向けて日々厳しいトレーニングに励んでいる選手のサポートや支援の強化など希望郷いわて国体成功に向けて協会一丸となって取り組んでいくことを確認しました。会議次第のその他で、小泉顧問から強化の成果は着実に見えてきている目標をしっかりと捉えて自信をもって選手強化に取り組んで欲しい。また高橋（和）顧問からも国体運営に係る協会財源確保も大変と思う、名誉会員、顧問、参与等への寄付についても遠慮することなくお願いして欲しい等励ましの言葉を頂きました。

釜石市山岳協会の市川滋代議員から、昨年の総会で情報提供した五葉山頂付近のシャクナゲ山荘の補修について、関係市町への働きかけと合わせ署名活動も実施していきたい。協会加盟団体の皆さんの協力をお願いしたいとの発言もありました。高橋会長から「山の日制定記念事業」について、加盟団体の取組みに協会として助成し全県的に盛り上がりを図りたいと協会としての取組方針が述べられました。

平成 28 年度運営方針及び事業計画は、次の通りです。

◎ 運営方針

- **希望郷いわて国体山岳競技成功に向けた推進体制の確立**
- **希望郷いわて国体山岳競技の選手強化**
- **祝日「山の日」制定に伴う啓発事業の実施**
- 安全登山の普及、登山指導技術の習得と普及
- 時代の変革と国体後を見据えた協会組織の在り方の検討
- **スポーツクライミング愛好者の組織化と協会加入促進**
- 自然保護活動の推進
- ボルダリング施設等整備、拡充の要望を上げています。

⑴事務局

＊日山協、各岳連、他団体との連絡調整
＊加盟団体等及び高体連登山専門部との連携強化
＊事務連絡の強化と徹底
＊山協ニュース・ホームページの充実

⑵指導部

＊加盟団体への技術講習と安全登山の啓発
＊スポーツクライミング愛好者の組織づくり支援
＊山岳指導員、スポーツクライミング指導員の育成
＊指導員研修の充実と指導員の養成
＊遭難対策技術の習得と支援体制の検討
＊スポーツクライミング審判員及びセッターの養成
＊指導員会との連携強化

⑶事業部

＊県民体育大会兼国体山岳競技選手選考会への参加促進
＊鞍掛山トレイルランニング大会の開催
＊スポーツクライミング大会の開催及びリード、ボルダリング競技の普及
＊加盟団体交流事業の開催

⑷登山普及部

＊岩手山八合目避難小屋適正管理と環境整備
＊安全登山の指導啓発＊自然保護の啓発
＊ジュニア育成事業での底辺拡大と登山教室の開催
＊岩手山ボッカ大将の開催
＊日本の名峰登山の開催
＊祝日「山の日」制定記念事業の実施

⑸選手強化部

＊全種別希望郷いわて国体決勝進出
＊2020 東京オリンピック等国体後を展望したジュニア育成、支援体制の構築
＊国体後を展望したスポーツクライミング推進体制の構築

⑹国体推進部

＊希望郷いわて国体山岳競技成功のための準備
＊日山協、岩手県、盛岡市等関係機関との連携強化
＊競技役員の競技運営力強化

平成 28 年度の主な事業日程

月	日	事　業
1	23-24	指導員研修会（遠野市水光園）
	27	第１回評議員会
2	6	定期総会
	12-14	東北高体連顧問研修会（源太ケ岳）
	13-14	冬山講習会・研修会（岩手山）
3	20	岩手県ボルダリング選手権大会兼国体予選会
4	23-24	岩手山八合目避難小屋春山小屋へ切替
	29	リード認定会
	30～5/1	日山協との国体第 1 回基準会議・運営会議
5	1	いわて国体記念リード大会
	14-15	東北六県岳連(協会)協議会（福島）
	22-24	高体連登山基礎講習会(前期)裏岩手連峰
	21=22	残雪期講習会兼指導員研修会
	26-29	日本の名峰登山　丹沢・赤城山
6	3-5	57 高校総体登山競技（裏岩手連峰）
	10-12	いわて国体リハーサル大会
	18-19	岩手山ボッカ大将
	25-26	岩手山八合目避難小屋常駐開始（6/30～9/4 まで毎日）
	25-26	県民体育大会兼国体選手選考会
7	1	岩手山山開き
	1-3	第２回東北高等学校登山大会
	9. 10. 12	夏休み親子ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ・ﾎﾞﾙﾀﾞﾘﾝｸﾞ教室
	16	加盟団体交流会
	17	2016 山の日制定記念鞍掛山トレランニング大会
	23-24	東北総合体育大会山岳競技（青森県）
8	5-6	ジュニア登山教室ｉｎ岩手山
	7	沢登り講習会･研修会（焼切沢）
	6-10	全国高等学校登山大会（岡山県）
	11	山の日制定事業
	30	岩登り講習会　川目
9	10～	岩手山八合目避難小屋常駐　10/10 までの日曜日・祝日と 10/15-16
	4	国体山岳競技抽選会(東京)
	23-25	高校登山基礎講習会(後期)岩手山
	30-2	第５２回高等学校登山大会新人戦岩手山焼走りコース
10	5-9	希望郷いわて国体山岳競技
	16	岩手山八合目避難小屋常駐終了
	22-23	岩手山八合目避難小屋冬小屋へ切替
	23	第 14 回ボルダリング大会

	30	第6回岩手県高等学校ボルダリング大会
11	12-13	岩手県ボルダリング大会
	26-27	東北六県ブロック会議(宮城)
12	3-4	初冬期講習会・研修会（早池峰山）
	10	名誉会員・顧問会議
	10	インターハイ・国体報告会
	18	第14回クライミングビギナーズコンペ
	22-23	全国高等学校選抜ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ大会（埼玉）
1	11	会計監査
	25	評議員会議
2	4	岩手県山岳協会定期総会
	11-12	冬山講習会・研修会（岩手山）
	10-12	東北高体連顧問研修会(鳥海山)

※本年度の主な事業日程です。詳細については、常任理事会で決定後お知らせします。

ボルダリングジャパンカップ加須大会で伊藤ふたば選手堂々の４位入賞

今年のスポーツクライミングの幕開けとなったJMA2016ボルダリングジャパンカップが1月30日から31日に埼玉県加須市で開催されました。この大会は、ボルタリングの日本一を争う大会で年齢制限なしで男女ともワールトカップ転戦組も含め我が国のトップクライマー等168iy が集結。岩手からは、国体強化選手の室塚彬、昆修太、山内響、中島大智、女子は金沢千怜、立花里美、伊藤ふたばの8人が出場。男子は藤井　快選手、女子は野口啓代選手の世界選手権制覇組が優勝。松園中1年の伊藤ふたば選手は、女子の部で４位と大健闘。日本代表選手や高校チャンピオンと互角のパフォーマンスで会場の注目を集めました。なお、この大会で好成績を残した金沢選手と立花選手は、4月に埼玉県加須市で開かれるワールトカップ日本代表選手に選ばれました。（伊藤ふたば選手は、年齢制限で今年のWCには出場できません。）山内君を始めほかの強化選手にとってもワールトカップ代表を逃した悔しさの反面、収穫大きかった大会ではなかったかと思います。

出堀宏明氏旭日双光章受賞祝賀会開催

平成 27 年秋の叙勲で「旭日双光章」という素晴らしい賞を受賞された協会名誉会員の出堀宏明氏の受賞祝賀会が 1 月 10 日(日)盛岡市のエスポアール盛岡で開催され、名誉会員等 91 名の出席を頂き出堀さんの受賞を祝いました。

発起人代表の高橋協会会長から 60 有余年にわたって協会の草創期から今日まで一貫して安全登山の啓発、技術指導、国体、全日大会の開催、山岳遭難救助、山岳組織人として協会のまとめ役、後継者育成に努められた氏の功績を紹介。中谷、矢羽々（文）両名誉会員と渡辺正蔵顧問から祝辞を頂きました。

出堀さんは、「今回の受賞は県山岳協会への評価でもある。」とお話していましたが、当然、ご本人の御功績に外なりませんが、この度の立派な表彰は、協会としても大きな勲章と捉えさせて頂き組織の活性化に取り組んでいかなければならないと思います。祝宴は岩手県日墺協会佐藤共成会長の発声で乾杯。工藤洋司前会長、川村芳正顧問から出堀さんにまつわるスピーチを頂きました。また、中道さん、杉山さんの詩吟、畠山さんの尺八、鈴木副会長のオカリナ演奏で和やかなひと時を過ごし、出堀さんの受賞を祝いました。これからも健康に留意されご指導をよろしくお願いします。

古澤勝三氏日体協スポーツ功労表彰、高橋時夫氏県体育功労表彰受賞祝賀会開催

2 月 6 日（土）定期総会に引続き、協会顧問古澤勝三氏の日本体育協会スポーツ指導員功労表彰、高橋時夫氏の県体協体育功労表彰祝賀会が午後 3

時から開催されました。

祝賀会には滝沢市長柳村典秀氏、八幡平市企画総務部長香川豊氏が来賓として出席。鈴木主計協会副会長が主催者として二人の功績等について紹介。柳村市長、矢羽々文一郎名誉会員からお祝いの言葉を頂き、中谷充名誉会員の乾杯の発声で二人のご功績を称えて懇親に入りました。

古澤先生は、長年、高体連登山専門部役員として高校総体、インターハイ等高校生の指導にあたられ、登山教室の講師を長年務められる等指導員として登山技術の普及指導に尽力されました。

高橋さんは、協会役員として競技登山の強化や組織運営を始め遭難事故防止等に尽力されています。お二人のこれからの活躍を期待したいと思います。

平成 27 年度指導員会
インドア研修会開催

1 月 23 日（土）～24 日（日）遠野市「たかむろ水光園」で平成 27 年度岩手県山岳協会指導員会（会長　武田勝栄）インドア研修会が開催されました。

研修会には県内各地から指導員 36 名と多くの指導員が出席。第 1 日目は、9 時からの雪山の石上山登山でラッセル、雪崩対策の実技研修。

午後 3 時 10 分からは、当協会指導部理事で日本登山医学会認定山岳医でもある盛岡友愛病院の中島孝之先生を講師に「低体温症と凍傷」と題しての講話を聞く。体温の維持、調節、手足の指先の血流のメカニズム、低温下での臓器の変化、低体温の分類、治療対処、治療の事例のお話、そして凍傷の重症度の見分け、凍傷の治療等について、冬山に登る私たちにとって、知っておかなければならないことを論理的に、科学的に且つ具体的に教示して頂き、大変勉強になりました。

講演の熱も冷めぬ間に、南部曲り屋の風情を残す会場での懇親会は大いに盛り上がり、飲み放題ということもあってか、次から次へと追加の注文で世話役の鈴木主計さんも真っ白（青）。参加者いわく「遠野の白酒はうまい!!」最近、山岳協会として山での交流の機会が少ない中、県内の岳友が交流を深める絶好の機会。地酒を持ちより、山談義に一夜を共にするのは最高。

充実した講演と山仲間との談笑、適度な地酒と土着の美味しい味覚。来年の開催が待ち遠しいと思いつつ、民話のふるさとをあとにしました。

伊藤ふたばさん
イタリアユース合宿報告
2016. 1. 3～12

東京オリンピック等国際大会へ向けての（公社）日本山岳協会指定強化選手の海外遠征強化合宿が 1 月 3 日～12 日にかけてイタリアのトリノで開催され、強化選手の一人である伊藤ふたばさんも参加。

合宿遠征は、1 月 5 日と 6 日は、ボルダー、6 日は、スピード、7 日午前リード、午後ボルダー、8 日技術、栄養、メンタル、1 月 9 日スピード、1 月 10 日リード、ボルダーの日程で、イタリアなどヨーロッパの選手と一緒の合宿を行いました。伊藤ふたばさんから合宿レポートが届きましたので紹介します。

【1/5】（ボルダー）

1　オンサイトで、一回登って、その後一番高度

が高かった人から、順にフラッシュで人のムーブとか見てやってみる。

2　垂壁のボリュームの課題でオンサイトで一回、次のスタート位置を遠くにしてオンサイトで一回でやる。

3　5 手位の課題を、位置とかまで全部覚えて、アイマスクをつけてやって間違えていたら終了。

4　トラバースで、スタートとゴールだけ決まっていてタイムは勝手、スピード勝負。

5　ダイナミックな動きの課題を一人一本ずつ作って一人一回トライを行う。

6　オンサイトで一回ランジ的な課題をやって、次からフラッシュで何回かやった。

1 の目的　人の動きを参考にすること。

2 の目的　2 回目のスタート位置を遠くして走る動きとの駆け引きの大切さ。

3 の目的　ホールドの位置とか形とかを見ただけ

ではなく、感覚で覚える。

4 の目的　スピードに慣れるために早く登る練習。

5 の目的　大きい動きの練習。

6 の目的　ランジを一回でまとめる練習。

※　体内時計で 1 分を、何もしていない時と、登っている時でやると、だいぶ登っている時の方が早く感じた。だから登っている時の体内時計を意識してふだんから練習するといい。リードの時も 6 分でやる意識を常に持ってやるといい。

【1/6】（スピード）

フランスチームのスピード練習専門のチームがやって、手順とか教わった。意外と悪かったけど慣れれば大丈夫。

最初 34 秒　⇒　29 秒　⇒　27 秒　⇒　21 秒　⇒　19 秒　⇒　18.5 秒

途中のところはランジした方が早かった。

【怜君のはなし】

ルーティーンを作ってやることが良い。

メンタル重要。

けがをしていた時は、レストすることを選択していた。

【1/7】午前（リード）

リードは 12ｂ～13ａくらいの課題を６分でやって 10 分登って 10 分休んでを 5 本くらいやるトレーニングをした。17.8mくらいの壁でやって、持久力が必要だと思ったし、ルートが長い分だけレストをしながらゆっくり登る人が多かった。これからはリードのタイムが短くなる可能性があるから、リズムよく登ることと、攻めた登りが求められる。

午後（ボルダー）

ボルダー、２０分間同じ課題を 5.6 人で順に登るトレーニングをした。課題の登り方のバリエーションや、同じ課題をリピートして登ることが目的でやった。登り方のバリエーションをふやすのは大切だから、いいトレーニングになったし、他の人の登り方はためになることもあってよかった。

【1/8】（技術･栄養･強いメンタルが大切）

大会でいきなり予想しないことがおきても、あたり前だと思っておどろかないで、動じない強いメンタルが大事。トレーニングをやりすぎると、関節に負担がかかることをお忘れなく

アップ　心ぱく数を上げるランニングとかやって股関節とか、膝とかの下半身のストレッチをする。上半身のストレッチをすると、筋肉が柔らかくなりすぎて、力が入らなくなるから、上半身のストレッチはしない。（最初は）自分でトレーニング内容を決めてトレーニングをする。内容は１つか、２つに絞って決める。クールダウン　ランニングや自転車などの心ぱく数を上げるやつか、１０分壁の中をぐるぐるとトラバースする。上半身・下半身のストレッチ。

疲れを残さないようにトレーニングが終わって、15 分以内に何か食べるといい。≪ウイダーｉｎゼリーとかがおすすめ≫いっしょにオレンジジュースとかね果物系の飲み物を取るといい。クールダウンをしっかりやって、疲れを残さないための体調管理と、食事をしっかりとって栄養を蓄えることが大切。

【1/9】午前（スピード）

イタリアのスピード専門のコーチの話を聞いて

身長で登り方が違ったり、足の置き位置から、上げるタイミングなど細かいところまで、研究していることを教わって進んでいると感じた。そのあとリードを２本やった。

午後（スピード）

スピードをやって、6 日やった時よりはみんな速くなっていた。あせって、足置きがバタバタしたり、足を上げるのを忘れたり、少しでも乱れたら、その後のリズムも悪くなってだめだったから、失敗しないように速く登るのは難しかった。　　15.91 秒ベスト

【1/１０】（リード・ボルダー）

リード白 13a くらい、緑 12d くらいのを２本やって、

コンペでフラッシュでやった。ボルダー４本課題があって、一本目垂壁でコーディネーション系の課題で。

【１課題目】【２課題目】【３課題目】【４課題目】

※課題の図は割愛しました。関心のある方は畠山強化部長へ照会して下さい。

【感　想】

コンペの時に自分がこの課題は、このくらいの時間で登れるか分かっておくことが大事だと感じた。登っている時と、登っていない時では、時間の感じが違ってくるから、あと１分といわれてどの位のペースで登れば完登できるか分かっておくことが大切と思った。

これからオリンピックの影響でリード、ボルダリング、スピードの全部ができる人が選考されていく。リードとボルダは、日本で練習できるがスピードを練習するところが無いためそこが欠点だと思う。スピードは、やればやるほどどんどんタイムが速くなっていくから、練習を回数こなしてやらないと速くならないし、自分の１番登りやすいやり方を見つけなければならないからスピードの壁は必要だと思いました。

平成 28 年度協会評議員会を開催

協会の諮問機関である平成 28 年度第１回評議員会は、1 月 27 日（水）午後 7 時から盛岡市の県体協会議室で開催されました。会議には、佐藤安美（和賀）、村上良則（都南）、村上伸男（翌檜)、浅沼昭男（大迫）、久世一彦（久慈）、大坊孝男（玉山）、千葉泰隆（RCC）の各氏、協会からは、高橋会長、鈴木、岩澤、吉田、西舘、武田の各副会長、小山理事長、遠藤事務局長、佐藤指導部長、畠山強化部長、植田登山普及部長、中村事務局理事が出席

事務局から、平成 27 年度の業務執行状況及び収支決算、平成 28 年度事業計画等が説明され、貴重なご意見等を頂きました。主な内容は、次のとおりです。

- 天候不順等で登山者が減少し手拭いの在庫 300 枚～400 枚、収入も昨年度比で 100 万円程減となった。
- 毛布の積立基金の活用は、ヘリコプターでの荷上げの関係もあり計画的に執行したい。
- 基金の効果的な活用に努めて欲しい。
- 国体開催、強化等大変な時期である。運営準備資金を募る等多くの人に参加意識を持ってもらうためにも寄付金を募る等積極的に取り組んで欲しい。
- 山の日制定記念として「冠」をつけて行ってはどうか。

以上、非常にありがたい意見、提言等を頂きました。

岩手山、冬山講習会
今年も悪天候で無念の途中下山

新年度に入って、最初の事業となる冬山講習会兼指導員研修会は、2 月 13 日（土）厳冬の岩手山（相の沢～岩手山）で実施。当日は、あいにくの雨模様の天気でしたが、北上山岳会から、講師の土井祐之指導員、諏訪木秀夫指導員、中島会員、駒込会員、協会佐藤誠指導部長、アルペンローズの田所、渡邊両指導員、翌檜山岳会から韮澤会員が参加。

日曜日にかけて全国的に大荒れの天気予報のため相の沢駐車場に集合後、日程を一泊二日から日帰りに切替えた。日帰り装備に荷物を入れなおし開講式後７時半出発。予定しているコースは、相の沢と御神坂登山道の中間に位置する尾根で冬限定のコースでありここ数年同講習会で使用している。歩き始めてすぐに雨となった。標高７００m付近の砂防堰堤の手前で沢を越え目指す尾根に取りついた。暖冬で積雪量が極端に少なく、かなり枝がうるさい。９５０m付近で登山行動を止める。９時頃。

ここではスタンディングアックスビレーの実践講習を行った。諏訪木さんは立ち木を利用したセルフビレー、支点となるピッケルを縦に埋込む方法を、田所さんはスノーバーを使用したセルフビレー、ピッケルを横に埋込む方法を指導。自己脱出の方法も実践した。

１１時下山開始。枝と重い雪に苦戦しながら１２時駐車場着。雨は止むことなく皆ずぶ濡れ。自然情報センターにて小休止後場所をお借りしてビーコンでの捜索講習を行った。送信側の電波の特性を頭に入れて捜索することが重要。

スタンディングアックスビレーもビーコンの使用も慣れが必要で繰り返し練習する必要がある。是非、より多くの方に参加していただき技術の習得に努めていただきたいと思った。１３時、閉講式後解散となる。　　（記録渡邊）

今年の主な山域の山開き情報

山　名	山開き開催日	関係市町村
室根山	４月中旬の日曜日	一関市
五葉山	毎年４月 29 日（昭和の日）	釜石市、大船渡市、住田町
鞍掛山	毎年４月 29 日（昭和の日）	滝沢市
栗駒山	５月第３日曜日	一関市、栗原市
姫神山	５月第３日曜日	盛岡市
八幡平	５月第４日曜日	八幡平市、鹿角市
秋田駒ケ岳	毎年６月１日	雫石町、大仙市
焼石岳	６月第１日曜日	奥州市
種山高原	６月第１日曜日	奥州市
七時雨山	６月第１日曜日	八幡平市
早池峰山	６月第２日曜日	花巻市、遠野市、宮古市
残雪の裏岩手連峰	６月第３日曜日（開山祭）	八幡平市
南本内岳	６月最終日曜日	西和賀町（町内の山）
岩手山	毎年７月１日	八幡平市、滝沢市、雫石町

＊年によって、変更の場合がありますので参加にあたっては、最寄りの市町村、観光協会ホームページ等で確認願います。

2016 希望郷いわて国体
山岳競技情報⑬
成年女子国体強化選手ワールドカップ加須大会出場権獲得

お目出度で競技生活から離れていました国体強化選手成年女子の金澤千怜、立花里実両選手が現役復帰第一線となった平成 28 年１月 30 日開催のボルダリングジャパンカップで健闘し、今年 4 月 12 日埼玉県加須市で開催のワールトカップの日本代表選手に選ばれました。

今大会では、復帰間もないにも関わらず健闘し、出場枠を見事に手中に収め、日本山岳協会の選抜選手として出場します。二人は、現在ママさん選手として、元気なお子さんと一緒に岩手国体出場を目指して厳しい強化合宿を積んでいます。

ママさん選手として帰ってきた二人へ皆さんの様々な面でのサポート、応援をお願いします。

希望郷いわて国体山岳競技に向けて準備日程固まる。

10 月国体本番に向けて、具体的な日程が決まりました。

3 月 19 日(土)と 20 日(日)は、ボルダリング大会と併せて競技役員運営研修が開催されます。

4 月 29 日(金)から 5 月 1 日(日)は、日本山岳協会競技運営委員会による第一回基準会議が開催されます。

基準会議は、競技運営に関する日山協の準備状況の視察、指導です。

6 月 10 日(金)から 12 日(日)は、希望郷いわて国体山岳競技リハーサル大会が開催されます。

リハーサルとはいえリード競技は「**スポーツク**

ライミングリード・ジャパンカップ」としてワールドカップ出場選手の選考等リード競技の日本代表を決める大きな大会で岩手での全国規模の大会としては初めての大会となります。この競技は、個人種目として全国から男女計 180 名の精鋭が集まります。もちろん、岩手の強化選手や中学一年の伊藤ふたば選手も出場予定です

ボルダリング競技は、「希望郷いわて国体記念ボルダリング大会」として国体と同じ選手二人のチーム方式で全国から男女各 20 チームの出場が予定されています。二つの大会ともリハーサルとはいえ、チャンピオン大会です。強化選手にとっては国体の前哨戦、競技運営役員にとっては、国体を見据えての本番さながらの研修を兼ねた晴れ舞台となります。

岩手らしさを存分に出したリハーサル大会としたいと思いますので皆さんの協力をお願いします。

6 月 24 日（金）～26 日（日）は、第 12 回岩手県民体育大会山岳競技兼国体選手選考会が開催されます。

10 月 5 日(水)から 9 日(日)は、いよいよ希望郷いわて国体山岳競技開催となります。

※　競技役員打合せ等を含め大会前日からの日程となっています。

県山協国体山岳競技実行委員会の動き

国体本番に向けて、毎月定例で開催しています協会実行委員会の第 3 回・第 4 回会議概要をお知らせします。

第 3 回会議　1 月 14 日(木) は、基準会議対応方針、大会消耗品、3 月 20 日開催のボルダリング大会等研修会開催の確認。各部署の係員必携マニュアルの作成の促進。プレス対応部署確認、国体審判ルールと国際ルールの確認。先催県の事例の紹介等

第 4 回会議 2 月 3 日(水) リハーサル大会実施要領、国体実施計画案、基準会議対応、国体競技備品の確認、リハーサル大会役員委嘱状の準備、競技役員宿舎について協議しました。

日山協山岳保険に入ろう

日山協の山岳保険は、年度中途でも加入できます。多くの山岳保険がありますが、日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ボルダリングやリード壁等でのロープを使用したクライミングもピクニックコースで比較的負担の少ない掛金での加入ができる等の利点もあります。また、万一の賠償責任保険も加味されています。更に、加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。**年の中途での加入もできます。**

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。

お詫びと訂正

協会ニュース 193 号で、国体選手強化募金のお名前と所属に誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

（正）藤原　裕（盛岡山想会）

（誤）藤原　豊（盛岡山岳会）

藤原様には不手際を、深くお詫び申し上げます。

経過報告

1/10(日)	出堀宏明顧問叙勲祝賀会
1/13(水)	平成 27 年度会計監査
1/14(木)	第 3 回県山協国体実行委員会
1/18(月)	平成 28 年度第 1 回部長会
1/20(水)	平成 28 年度第 1 回常任理事会
1/23(土)-24(日)	指導員会インドア研修
1/27(水)	平成 28 年度第 1 回評議員会
2/3(水)	第 4 回県山協国体実行委員会
2/6(土)	平成 28 年度定期総会
2/17(水)	第 2 回部長会

今後の予定

3/2(水)	第 5 回県山協国体実行委員会
3/16(水)	第 3 回部長会
3/19(土)	国体競技役員(ボルダリング)研修会
3/20(日)	第 9 回岩手県ボルダリング選手権大会
4/6(水)	第 2 回常任理事会
4/7(木)	第 6 回県山協国体実行委員会
4/23(土)-24(日)	岩手山八合目避難小屋切替(冬から夏)
4/29(金)	クライミング認定会
4/30(土)-5/1(日)	第 1 回国体基準会議 ・運営研修
5/1(日)	岩手県リード選手権大会